

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
広島工業大学 専門学校	昭和59年1月14日	玉 野 和 保	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1 (電話) 082-295-5111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人鶴学園	昭和32年11月27日	鶴 衛	〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 (電話) 082-921-3121			
目 的	企業における即戦力となる人材を育成することを目的とし、座学および実習科目を通じて建設に関する「ものづくり」を担う学生を養成する。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課 程	土木工学科	2年(昼)	1,920単位時間	平成27年文部科学 大臣告示第14号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1,152単位時間	0単位時間	0単位時間	1,024単位時間	0単位時間	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	51人	2人	13人	15人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 定期試験・課題・小テストや、授業態度、また出席状況等を総合的に判定し、科目担当教員が評価。	
長期休み	■学年始め：4月4日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～翌年1月7日 ■学 年 末：3月18日～4月3日			卒業・進級条件	卒業条件は、学科の定める卒業認定単位数を満たしていること。進級条件は、出席率80%以上、必須科目の単位の取得を原則とし、学科判定会議、学校全体の認定会議で審議。	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 出席率不良(80%未満)学生について、個別の状況把握に努め早期対応を行う。長期欠席者に対しては学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて生活指導・進路指導を行う。			課外活動	■課外活動の種類 地域ボランティア清掃、広島市グリーンパートナー、みちのく未来基金募金活動等。 ■サークル活動 (有・無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 広成建設(株), 大畑建設(株), (株)青木組 大野木道路(株), 八光建設(株), 山陽建設工業(株) (株)河崎組, 伏光組(株), 大新土木(株)他 ■就職率^{※1} 100.0% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 100.0% (平成27年度卒業者に関する平成28年9月時点の情報)	主な資格・検定 土木施工管理技術検定(学科試験) 造園施工管理技術検定(学科試験) 2級ビオトープ管理士・測量士補 日本語ワープロ検定 情報処理技能検定 小型車両系建設機械 締固め機械
中途退学の現状	■中途退学者 4名 ■中退率 11.1% 平成27年4月1日在学者 36名(平成26年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 32名(平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、就職 ■中退防止のための取組 中途退学は学生本人の生涯に関わる事柄であるため、学科長、校長等が本人に対して保護者を交えて進路指導を行い、中退防止に努めている。	
ホームページ	URL: http://www.hitp.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

測量・土木業界の現場において、リーダーの資質を持った中堅技術者を育成するため、企業等と教育課程編成委員会を開催し、人材の専門性に関する動向や、求められる専門知識・技術・資格等について意見や提言等を頂き、カリキュラム編成や授業内容・方法等の改善に反映させる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属
今川 朱美	広島工業大学工学部都市デザイン工学科
安田 祐司	株式会社YGSコンサルタント

(開催日時)

第1回 平成28年5月27日 15:00～16:30

第2回 平成29年2月10日 15:00～16:30 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

測量・土木業界における中堅技術者となるために必要となる専門的知識や技術の中において、特に、国土交通省等から求められている土木製図基準(案)・電子納品に基づいた作図技術等を習得させ、この専門分野に特化した設計コンサルタント・施工に関する知識を有する企業を選定し、当該企業の技術者を講師とする実践的な授業を展開することとする。また、同時に実習における学習成果等に対して評価を行う体制を学校と連携して取ることが可能な企業であることとしている。

科目名	科目概要	連携企業等
土木総合施工実習 I・II	設計、施工に関する実習	大広エンジニアリング、青木組、株式会社工業
地下空間工学 I・II	土木構造物などの建設に関する知識習得	株式会社工業

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員の専門的な知識や技術・技能と学生に対する指導力等の向上を図るため、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会での審議を通じて示された意見や情報等を十分に把握した上で研修等を計画・実施し、教育活動の充実に努めることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名前	所属
国貞 和彦	学校法人広陵学園 広陵高等学校
高羽 威	一般社団法人情報産業協会人材開発委員長
木谷 幸江	公益財団法人 日本照明家協会
宮内 秀実	河井建設工業株式会社
山本 博	テンパール工業株式会社
大島 晋也	広島工業大学専門学校同窓会

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.hitp.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			生き方講座Ⅰ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	1 前	32	1			○
○			生き方講座Ⅱ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	1 後	32	1			○
○			生き方講座Ⅲ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	2 前	32	1			○
○			生き方講座Ⅳ	仕事の基本としての基礎知識、ビジネス常識と共に、文書の書き方、ビジネスマナーなどの社会人としての知識を身につける。	2 後	32	1			○
○			文章技術	明快で論理的な「レポート」「実習報告書」等の作成能力を育成すると共に、論理的な思考を養う。	1 前	32	2	○		
○			コンピュータ 実習Ⅰ	建設関連の設計計算・積算等の業務において、コンピュータ等のシステム機器に順応できるようコンピュータの基礎を理解させる。	1 前	32	1			○
○			コンピュータ 実習Ⅱ	建設関連の設計計算・積算等の業務において、コンピュータ等のシステム機器に順応できるようコンピュータの基礎を理解させる。	1 後	32	1			○
○			応用測量Ⅰ	線形決定、中心線測量、仮 BM 設置測量、縦横断測量、詳細測量、用地幅杭設置測量、成果等の管理、距離標設置測量、定期横断測量、深淺測量、海浜・汀線測量などに関する基礎知識を学習する。	1 後	32	2	○		
○			応用測量Ⅱ	道路、河川の工事に必要な測量技術を習得させる。路線の中心線設置、縦断測量、横断測量ができるようにする。河川の横断測量、流量測定ができずようにする。	2 前	64	2			○

○			応用測量Ⅲ	工事測量、丁張設置測量、ポール横断測量、災害測量等の測量技術を習得する。	2 後	64	2			○
○			基準点測量Ⅰ	基準点測量の概要、計画・準備（作業工程）、測定機器（原理、取扱、検定）、測定、計算・整理、特殊な測量（梅屋、太陽、時計法等）、管理（施工管理、精度管理）などを学習する。	1 前	64	4	○		
○			基準点測量Ⅱ	基準点測量の概要、計画・準備（作業工程）、測定機器（原理、取扱、検定）、測定、計算・整理、特殊な測量（梅屋、太陽、時計法等）、管理（施工管理、精度管理）などを学習する。	1 前	64	2			○
○			水準測量Ⅰ	水準測量の概要、計画・準備、測定機器、測定、計算・整理、特殊な測量（交互水準測量）、管理（施工管理、精度管理）を学習する。	1 前	32	2	○		
○			水準測量Ⅱ	水準測量の概要、計画・準備、測定機器、測定、計算・整理、特殊な測量（交互水準測量）、管理（施工管理、精度管理）を学習する。	1 後	32	1			○
○			地形写真測量・地図編集Ⅰ	地形測量の概要、図式、編集等などの地図製図の技法、観測方法などを学習する。	1 前	32	2	○		
○			地形写真測量・地図編集Ⅱ	地図編集の概要、図式设计、編集等や地図製図の技法、国土基本図図式規定、地図投影の概要、各種投影法の特徴・計算・座標等および地理情報システムを学習する。	1 後	32	2	○		
○			地形写真測量・地図編集Ⅲ	写真測量に関する基本的な知識を習得する。 写真測量の概要、計画・準備、測定機器、測定（撮影、判読、現場調査、管理（施工管理、精度管理）、リモートセンシング	2 前	32	2	○		
○			土木製図	手書きによる基礎的な製図能力と実習を通して土木構造物の理解、読図の技能基礎力を養成することを旨とする。又、2級土木施工管理技術検定試験の共通工学の内、「設計図書」に対応できる学力を養成する。	1 前	32	1			○
○			土木CADⅠ	建設現場に必要な図面の作成法を学習する。 基礎作図練習、測量図面、土木構造物等	1 後	64	2			○
○			土木CADⅡ	建設現場に必要な図面の作成法を学習する。 基礎作図練習、測量図面、土木構造物等	2 前	64	2			○
	○		土木情報処理	建設現場に必要な情報処理技術を学習する。 EXCELによる測量計算、土木計算、CALS 関連に必要な知識など	2 後	64	2			○

○			構造力学Ⅰ	土木構造物の設計に必要な力学の基礎的な知識を修得し、各種構造物の設計計算の応用力を養う。	1 前	32	2	○		
○			構造力学Ⅱ	土木構造物の設計に必要な力学の基礎的な知識を修得し、各種構造物の設計計算の応用力を養う。	1 後	32	2	○		
○			水理学	河川構造物の設計、河川河道計画等に必要な水理学の基礎知識を修得する。静水圧、浮力、流れの種類、連続の法則、ベルヌーイの定理、開水路の等流・不等流、管水路の流量、損失水頭など	2 後	32	2	○		
○			土質工学	土木構造物の設計及び安定計算に必要な地盤の力学の基礎知識を修得する。土質の基本的性質、圧密現象の機構、土中の応力モールの円、土の剪断、土庄分布、地盤の支持力、斜面の安定など	1 前	32	2	○		
○			環境都市計画	都市計画の目標及びその内容について概説し、さらに都市計画の中で土地利用計画、都市交通計画の構成と立案の過程を示し、都市計画に関する諸問題について学習する。	1 後	32	2	○		
	○		生態学(ビオトープ)	生態系に関する基礎知識やビオトープに関する基礎的な学習する。	1 前	32	2	○		
	○		ビオトープ論	ビオトープで求められる考え方や基礎知識を学習する。	1 前	32	2	○		
	○		ビオトープ施工法	ビオトープ施工に関する基礎知識や生態系に優しいものづくりの技術者を育成する基礎知識を学習する。	1 前	32	2	○		
○			コンクリート工学Ⅰ	コンクリートは建設材料として最も主要な材料であるため、その性質についての基礎的な知識を修得する。	1 前	32	2	○		
○			コンクリート工学Ⅱ	鉄筋コンクリートは建設材料として最も主要な材料であるため、その性質についての基礎的な知識を修得する。	1 後	32	2	○		
○			環境河川工学	河川用語の理解、河川管理施設等の設計、施工、管理に必要な基本的考え方を習得する。又2級土木施工管理技術検定試験の「河川・砂防及びダム部門」に対応できる学力を養成する。(河川法含む)	2 前	32	2	○		
○			道路工学	道路全般にわたり種類、関係法規、線形計算、構造設計と施工、舗装、その他付属施設等の基本的な事項を学ぶ。	2 前	64	4	○		

○			橋梁工学	橋梁の種類と構造、橋梁に使用する材料の種類と強度及び許容応力度、設計荷重等について理解させ、橋梁の設計能力を修得させる。	2 前	32	2	○		
○			ランドスケープデザイン	造園施工に必要な基本知識を学習する。	2 前	32	2	○		
○			環境海岸・港湾工学	海岸域の開発と環境保全を進める際に必要となる自然現象をよく理解し、海岸保全施設の設計に必要な基本的考え方を修得する。	2 後	32	2	○		
○			地下空間工学Ⅰ	土質力学の知識を応用し、構造物における基礎構造の設計法の基本的考え方を修得する。	2 前	32	2	○		
○			地下空間工学Ⅱ	土質力学の知識を応用し、構造物における基礎構造の設計法の基本的考え方を修得する。	2 後	32	2	○		
○			土木施工法Ⅰ	土質力学の知識を応用し、構造物における基礎構造の設計法の基本的考え方を修得する。	1 後	32	2	○		
○			土木施工法Ⅱ	建設工事に必要な施工法、特に土工関係を中心に学習し、工事現場にて即応できるようにする。	2 前	32	2	○		
○			土木施工法Ⅲ	建設工事に必要な施工法、特に土工関係を中心に学習し、工事現場にて即応できるようにする。	2 後	32	2	○		
○			建設機械	工事の計画、又は設計する際に必要な建設機械に関する特徴、使用方法、作業能力、機械経費の算定等について理解させ、機械化施工の実務的知識を修得させる。	2 前	16	1	○		
○			土木法規	建設工事の設計・施工には多くの法律・規則等で規制を受けていることを理解させる。	2 前	16	1	○		
○			土木調査・設計演習	土木総合実習に関する事前準備として設計書類作成、現地調査などを中心に行う。	2 後	32	1			○
○			土木設計積算	建設工事・発注と受注に積算が契約につながる業務の一環であることを理解させ、直接工事費・共通仮設費の積算が施工の適正な品質・安全・管理と利潤に大きく影響することを学び積算手法を修得する。	2 後	32	2	○		

○			測量設計積算	測量における発注・受注に積算が契約につながる業務の一環であることを理解させ、積算の方法などを学習する。	2 後	32	2	○		
○			土木材料実験 Ⅰ	金属材料及びコンクリート材料の性質を調べる基本的な実験を行い、材料の性質に関する基礎知識を体験的に学習する。また、この実習を通して実験の心構え、機器の取り扱い、データのまとめ方やレポートの書き方を身に付けさせる。	1 前	32	1			○
○			土木材料実験 Ⅱ	木材料の種類・特性及び物理的特性の基礎を体系的に学習し、設計における材料の適正を判断するための基準を学習する。	1 後	32	1			○
○			土木材料実験 Ⅲ	木材料の種類・特性及び物理的特性の基礎を体系的に学習し、設計における材料の適正を判断するための基準を学習する。	2 前	32	1			○
	○		ビオトープ管理士資格対策講座	日本生態系協会が実施しているビオトープ施工管理士・ビオトープ計画管理士の受験のための対策講座を行う。	1 後	32	2	○		
	○		測量士・測量士補資格対策講座	国土交通省国土地理院が実施する測量士・測量士補の受験のための対策講座を行う。	1 後	32	2	○		
	○		施工管理技士資格対策講座	国土交通省所管の土木施工管理技術検定、造園施工管理技術検定、管工事施工管理技術検定の受験のための対策講座を行う。	1 後	32	2	○		
○			土木総合施工実習Ⅰ	ものづくり実習として、土木を中心とした構造物を設計段階から計画し、施工に至るまでの過程を実習より学習させる。	1 後	64	2			○
○			土木総合施工実習Ⅱ	ものづくり実習として、土木を中心とした構造物を設計段階から計画し、施工に至るまでの過程を実習より学習させる。	2 後	64	2			○
○			卒業研究/企業実習	研究テーマに基づき調査・研究を行うことにより専門的な知識を養う。企業での実体験を目的とする。	2 後	64	2			○
○			まちづくり数学Ⅰ	建設分野に必要な数学知識を学習する。	1 前	32	2	○		
○			まちづくり数学Ⅱ	建設分野に必要な数学知識を学習する。	1 後	32	2	○		

		○	インターンシップ	実際の現場において、工事の段取り、仮設備、施工方法、工程管理、出来高管理、品質管理、安全管理等を直接体験し、即戦力となる知識を修得する。(夏休みに10日間)	1 後	64	2			○
合計				58 科目	2,208 単位時間 (106 単位)					